

発行日：2025/6/23

改定日：

エコアクション21

環境経営レポート

[活動期間：2024年4月1日～2025年3月31日]

- 1、環境経営方針
- 2、組織の概要
- 3、実施体制及び役割・責任・権限
- 4、環境経営の実績と目標および取組み結果とその評価
- 5、次年度環境経営目標
- 6、次年度環境経営計画
- 7、環境関連法規の遵守と評価
- 8、外部情報の受付状況
- 9、代表者による全体評価と見直しの結果



株式会社山形メタル

環境経営方針

1、＜基本理念＞

当社は、環境保全への取組みが次世代への自然環境の引継ぎと、重要な経営課題であることを認識し、建築用金属パネルの開発・製造、機械部品の製造および金属加工を通じた環境負荷の低減や環境に配慮した製品の提供を目指し、全社的な活動と自主的・積極的に環境への取組みを進めてまいります。

2、＜基本指針＞

当社は、事業活動を通じて、次のことに取り組みます

- (1) 環境関連法規制及び、当社が同意するその他の要求事項の遵守
- (2) 電力・その他燃料消費に伴う二酸化炭素排出量の削減の取組み
- (3) 廃棄物の排出量の低減、分別、再資源化
- (4) 節水の取組み
- (5) 環境に配慮した製品の開発及び販売促進の取組み
- (6) 継続的な改善（5 S 推進、原価の低減、不良の削減）を行い、環境負荷の少ない生産活動の推進
- (7) 化学物質使用量の削減の推進

この方針は、社員教育や日々の事業活動を通じて全従業員に周知し、その実施及び達成に努めます。

制定：平成20年9月12日

改定：平成31年3月31日

株式会社 山形メタル

代表取締役 庄司 正人

2、組織の概要

(1) 会社名及び代表者名

株式会社 山形メタル

(2) 所在地

本社工場 山形県新庄市大字福田字福田山7 1 1 番地 1 7

総務部 TEL (0 2 3 3) 2 8 - 1 0 1 1

営業部 TEL (0 2 3 3) 2 8 - 1 2 7 1

製造部

生産管理部建材生産管理課建材生産管理係 TEL (0 2 3 3) 2 8 - 0 7 6 1

生産管理部建材生産管理課建材設計係 TEL (0 2 3 3) 2 8 - 0 7 6 3

生産管理部メタル生産管理課 TEL (0 2 3 3) 2 8 - 1 2 7 1

第二工場 山形県新庄市大字福田字福田山7 1 1 番地 2 2 6

技術部 TEL (0 2 3 3) 2 8 - 0 2 1 2

東京営業所 東京都台東区東上野3 - 3 6 - 7

TEL (0 3) 6 2 8 4 - 4 0 7 3

(3) 環境管理責任者

取締役常務 庄司 勝巳

連絡先 TEL (0 2 3 3) 2 8 - 0 2 1 2

FAX (0 2 3 3) 2 8 - 1 0 9 1

URL : <http://www.y-metal.co.jp>

E-mail : katsumi_shoji@y-metal.co.jp

(4) 認証・登録の対象活動範囲

建築用内外装金属パネルの開発・製造、建設機械部品の製造及び各種金属の切断・板金加工、製品の販売に関わる業務。

(5) 事業の規模

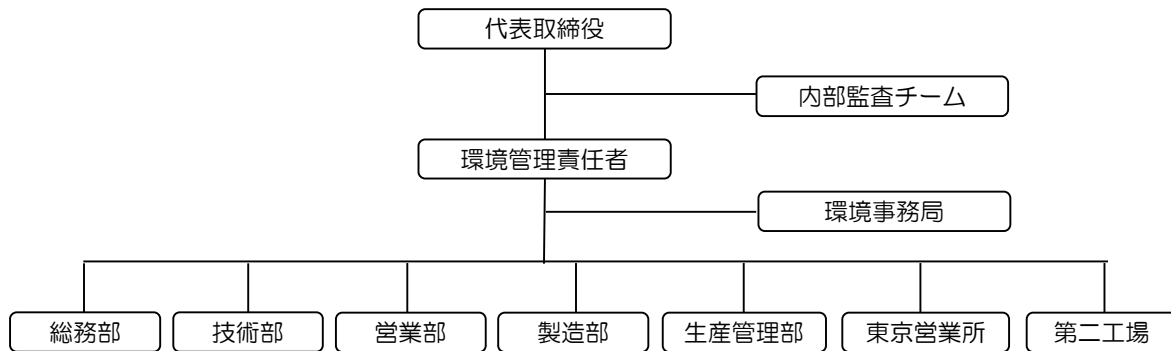
活動の規模	単位	2022年	2023年	2024年
主要製品生産量	t	1,418	1,100	1,052
売上高	百万円	1,324	1,306	1,349
従業員	人	120	120	120
床面積	m ²	11,978	11,978	11,978

(6) 事業年度

4月～3月

3、実施体制及び役割・責任・権限

環境経営活動組織図



役割・責任・権限	
社長	① 環境経営に関する統括責任者 ② 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技術者を準備 ③ 環境管理責任者を任命 ④ 環境経営方針の策定・見直し・及び全従業員へ周知 ⑤ 環境経営目標・環境経営計画の承認 ⑥ 代表者による全体の評価と見直しを実施 ⑦ 内部監査の承認 ⑧ 環境経営レポートの承認 ⑨ 経営における課題とチャンスと整理し、明確にする ⑩ 実施体制の構築
内部監査員	① 内部監査の実施と監査結果の報告 ② 監査結果に基づく是正の指示
環境管理責任者	① 環境経営システムの構築、実施、管理 ② 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ③ 環境経営目標・環境経営計画を確認 ④ 環境経営活動の取組み結果を代表者へ報告
環境事務局	① 環境管理責任者の補佐、e a 2 1 推進委員会の事務局 ② 環境負荷の自己チェック及び環境への取組みの自己チェックの実施 ③ 環境経営目標、環境経営計画の原案を作成し部門長に提示 ④ 環境経営活動の実績集計 ⑤ 環境関連法規等取りまとめ表の作成 ⑥ 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ⑦ 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ⑧ 環境経営レポートの作成、公開（事務所等に備え付けと地域事務局への送付）
部門長	① 自部門における環境経営システムの実施 ② 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ③ 自部門の環境経営目標、環境経営計画の作成 ④ 自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ⑤ 特定された項目の手順書作成及び運用管理 ⑥ 自部門の特定された緊急事態への対応の為の手順書作成（テスト・訓練の実施・記録の作成） ⑦ 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	① 環境経営方針の理解と環境への取組みの重要性を理解 ② 決められた事を守り、自主的・積極的に環境経営活動へ参加

4-1、環境経営目標

環境経営目標及び計画の実施・取組み結果と評価

1.二酸化炭素排出量の削減

PLAN

目標：9534.5Kg-CO2/千万円
基準年より0.5%削減

DO

電気、ガソリン、軽油、灯油、LPGの削減より達成する。

ACT

来期の目標：9486.6Kg-CO2/千万円
基準年より1.0%削減

CHECK

実績：9,582.4Kg-CO2/年
達成率：99.5%（電気の排出係数：0.522）
評価：目標を達成することはできませんでしたが、実際は排出係数の低い（0.436）電気を使用しているため8,829.3Kg-CO2と達成している。



4-2、環境経営目標

環境経営目標及び計画の実施・取組み結果と評価

(1) 電気使用量の削減

PLAN

目標：8,174kwh/千万円
基準年より0.5%削減

DO

休憩時間にこまめに電気を消す。
温度管理（夏場の冷房28度、冬場の暖房20度）の徹底。
エアコンのフィルターを定期的に掃除する。

ACT

来期の目標：8,133kwh/千万円
基準年より1.0%削減

CHECK

実績：8,756.7kwh
達成率：93%
評価：目標に約7%足りなかった。
取組み内容の見直しが必要。
ただし、電力会社を変更したことで二酸化炭素排出量を抑えることが出来た。



4-3、環境経営目標

環境経営目標及び計画の実施・取組み結果と評価

(2) ガソリン使用量の削減

PLAN

目標：83.2L/千万円
基準年より0.5%削減

DO

急発進、急停止、急加速、急減速をしない。
暖機運転は必要最低限にする。
公共機関を利用し社用車の使用を控える。
社用車を購入する際はハイブリッド車又は低燃費車を検討する。



ACT

来期の目標：82.8L/千万円
基準年より1.0%削減

CHECK

実績：82.7L
達成率：101%
評価：目標を達成することが出来た、このまま継続して取り組んでいく。

4-4、環境経営目標

環境経営目標及び計画の実施・取組み結果と評価

(3) 軽油使用量の削減

PLAN

目標：26.5L/千万円
基準年より0.5%削減

DO

除雪車、フォークリフトの暖機運転は必要最低限にする。
アイドリングストップを心がける。



ACT

来期の目標：26.3L/千万円
基準年より1.0%削減
降る雪の量によって軽油使用量が増減するのは仕方ないが、目標を達成する事を意識して今後も進めていく。

CHECK

実績：35.0L
達成率：75%
評価：達成率が75%と低水準に終わった。
前期に比べコンスタントに雪が降ったため、除雪をする回数が増えたのが原因である。

4-5、環境経営目標

環境経営目標及び計画の実施・取組み結果と評価

(4) 灯油使用量の削減

PLAN

目標：316.9L/千万円
基準年より0.5%削減

DO

工場内暖房器具の適正使用（不在時などは電源を切るなど）の徹底。
温度管理（冬場の暖房20度）の徹底。



ACT

来期の目標：315.3L/千万円
基準年より1%削減

CHECK

実績：296.8L
達成率：107%
評価：目標を達成する事が出来た。今後も取組みを継続して削減していく。

4-6、環境経営目標

環境経営目標及び計画の実施・取組み結果と評価

(5) LPG使用量の削減

PLAN

目標：1,320.5L/千万円
基準年より0.5%削減

DO

塗装の順番等（例：徐々に焼成炉の温度を上げて流せるように）を考慮し効率化を図る。
焼成炉の暖機運転を必要最低限にする。



ACT

来期の目標：1,313.8L/千万円
基準年より1.0%削減

CHECK

実績：1,329.5L
達成率：99%
評価：目標に約1%足りなかった。
削減目標を達成するようにこのまま継続して取り組んでいく。

4-7、環境経営目標

環境経営目標及び計画の実施・取組み結果と評価

2.廃棄物の削減

(1) 一般廃棄物の削減

PLAN

目標：123.9Kg/千万円
基準年より0.5%削減

DO

ゴミの持ち帰り（カップラーメン、弁当等自分で持ち込んだ物）の徹底。
裏紙利用の徹底。
古紙回収の利用。

ACT

来期の目標：123.3Kg/千万円
基準年より1%削減

CHECK

実績：95.9Kg
達成率：129%
評価：達成手段の徹底により達成率129%と高い成果をあげた。
今後も引き続き継続して取り組んでいく。



4-8、環境経営目標

環境経営目標及び計画の実施・取組み結果と評価

(2) 化学物質の削減

PLAN

目標：127.9Kg/千万円
基準年より0.5%削減

DO

不良や再塗装の削減。
必要最低限の塗料の購入。

ACT

来期の目標：127.2Kg/千万円
基準年より1.0%削減

CHECK

実績：168.4Kg
達成率：76%
評価：達成率が76%と低水準に終わった。
仕事の内容による増減があるため仕方ない部分もあるが、原単位で40Kgも差があるのは何が原因か突止め来期に繋げたい。



4-9、環境経営目標

環境経営目標及び計画の実施・取組み結果と評価

(3) 産業廃棄物の削減

PLAN

目標：2,142.5Kg/千万円
基準年より0.5%削減

DO

不良の削減。
必要最低限の材料購入。

ACT

来期の目標：2,132Kg/千万円
基準年より1%削減

CHECK

実績：1,513.4Kg
達成率：142%
評価：達成率が142%と高水準であった。
不良の削減、必要最低限の材料購入によって達成出来たと思われる。引き続き継続していく。



4-10、環境経営目標

環境経営目標及び計画の実施・取組み結果と評価

2.水使用量の削減

PLAN

目標：35.8m3/千万円
基準年より0.5%削減

DO

吐水量を少なくして使用する。
水のだしっぱなしをやめる。

ACT

来期の目標：35.6m3/千万円
基準年より1%削減

CHECK

実績：35.0m3
達成率：102%
評価：2%目標を上回った。継続して節水に取り組んで行く。



4-11、環境経営目標

PLAN

完全無機水性塗料の開発

DO、ACT、CHECK

開発継続中

5、次年度及び中長期環境経営目標

売上1千万円当たりの目標値（環境負荷項目）

	単位	基準年	中長期目標		
				次年度目標	
		4 6期 2023/4～ 2024/3	4 7期 2024/4～ 2025/3 基準年×0.995	4 8期 2025/4～ 2026/3 基準年×0.990	4 9期 2026/4～ 2027/3 基準年×0.985
1 二酸化炭素排出量の削減	Kg-CO2	9,582.4	9,534.5	9,486.6	9,438.7
(1) 電気使用量の削減	kwh	8,215.0	8,173.9	8,132.9	8,091.8
(2) ガソリン使用量の削減	L	83.6	83.2	82.8	82.3
(3) 軽油使用量の削減	L	26.6	26.5	26.3	26.2
(4) 灯油使用量の削減	L	318.5	316.9	315.3	313.7
(5) LPGの削減	Kg	1,327.1	1,320.5	1,313.8	1,307.2
2 廃棄物の削減					
(1) 一般廃棄物の削減	Kg	124.5	123.9	123.3	122.6
(2) 化学物質の削減	Kg	128.5	127.9	127.2	126.6
(3) 産業廃棄物の削減	Kg	2,153.3	2,142.5	2,131.8	2,121.0
3 水使用量の削減	m3	36.0	35.8	35.6	35.5
4 完全無機水性塗料の開発	—	—	継続開発	継続開発	継続開発

6、環境経営計画

次年度環境計画

取組計画	取り組み内容
電気使用量の削減	休憩時間にこまめに電気を消す。 温度管理（夏場の冷房28度、冬場の暖房20度）の徹底。 エアコンのフィルターを定期的に掃除する。 クールビズの導入。
化石燃料使用量の削減 ガソリン・軽油・灯油	タイヤの空気圧の確認、定期的なオイル交換、エコドライブ。 急発進、急加速、急ブレーキを控え安全運転。 暖機運転は必要最低限にする。 冬場の重ね着の工夫。
LPGの削減	焼成炉の暖機運転を必要最低限にする。 塗装の順番を考慮し効率化を図る。
一般廃棄物の削減	裏紙利用の徹底。 文書類の電子化。 ゴミの持ち帰り（カップラーメン、弁当等自分で持ち込んだ物）の徹底。
化学物質の削減	不良の削減 必要最低限の購入を心がける。
産業廃棄物の削減	不良の削減 必要最低限の購入を心がける。
水使用量の削減	水を出しっぱなしにしないでこまめに止める。 吐水量を少なくして使用する。

7. 環境関連法規の遵守と評価

確認日：2025年3月31日

法規制名称	適用条件	遵守の記録	評価
特定工場における公害防止組織の整備に関する法律	クロムなどの汚水等排出施設設置している工場 では公害防止統括者、資格を有する公害防止管理者及び公害防止代理者の選任・届出が必要	公害防止統括者の他、資格を有する公害防止管理者及び公害防止代理者を選任し届出	○
毒薬及び劇薬取締法	毒物劇物を置いてある工場	毒物劇薬責任者を置き届出	○
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律	フロンが充填された冷蔵庫を廃棄する場合 フロン類の漏えい防止及び漏えい量の報告 7.5kw～50kwの空調機器及び冷凍機棟の 3年に1回以上、有資格者による点検を実施すること	該当する廃棄は発生していない 当社の該当対象設備は、レーザー用チラー（冷却装置）が対象となる 有資格者による定期点検実施済	○
水質汚濁防止法	特定施設（酸またはアルカリによる表面処理施設）	汚染状態を測定し、結果記録の保存を実施	○
浄化槽法	浄化槽が設置され、保守点検が行われ、記録が保管されていること	業者による保守点検が実施され、結果の記録は保存	○
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	平成29年度調整後係数 水銀廃棄物の適正処理	産廃業者との委託契約とマニフェスト管理と保存	○
特定家庭用機器再商品化法	ユニット型エアコン、ブラウン管テレビ、冷蔵庫、冷凍庫、洗濯機の再商品化業者に適切に引き渡すこと	発生した場合は販売店に引渡し管理表（家電リサイクル券）を受け取る	○
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律	第一種指定化学物質の排出量・移動量を指定された方法で把握し、毎年6月末まで知事を経由し総務大臣に届出（PRTTR対象物質）	年間1トン以上の取り扱い物質（エチルベンゼン、キシレン、トルエン）を把握し届出をしている	○
労働安全衛生法	労働安全衛生法の要求する法規則	安全衛生委員会活動の実施 作業主任者の選任、健康診断の実施 記録保管など	○
消防法	防火管理者の選定 消防法の要求する法規則	実施済	○
高圧ガス保安法	高圧ガス保安法が要求する法規制 高圧ガス取扱責任者を選任	各届出等実施済	○
土壤汚染対策法	有害物質（フッ素、クロム等）使用の特定施設	汚染状態を測定し、結果記録の保存を実施	○
山形県特定事業場排水自主管理要綱	排水測定項目及び水質目標値 ・フッ素含有量 8mg/l以下 毎月 ・水素イオン濃度 5.8～8.6 毎月 ・亜鉛含有量 2mg/l以下 3ヶ月毎	点検を実施、結果を記録し、3年間記録の保存	○
工場立地法	新庄中核工業団地は「特例団地」が適用 対象工場 敷地面積が、9,000㎡以上 建築面積が、3,000㎡以上	当社は本社工場が対象 届出済	○
山形県生活環境の保全に関する条例	特定施設（化成処理槽）を設置していることから、土壤汚染状況を年一回測定し、結果の記録を3年間保存すること	土壤汚染状況を測定し、記録を保存する 測定実施と記録保存済み	○

確認および評価の結果、環境関連法規等は遵守されており違反はありません。

なお、関係当局より違反等の指摘はありません。

8、外部情報の受付状況

環境関連法規に関する違反はありませんでした。
関連機関からの指摘や苦情はありませんでした。
地域からの苦情はありませんでした。

9、代表者による全体評価と見直しの結果

CO2排出量に関しては目標を達成出来たが各項目はほとんどが未達であった。
これは単に電気の排出係数が低い業者に変えただけでの達成であり、来期以降目標を達成出来るか疑問である。
廃棄物、化学物質に関しても同様に思える。
しかし、いろいろな要因が重なり数値が増減するのも仕方のないことである。
環境経営方針の基本理念・基本指針を守り実行し目標を達成出来る様に取り組んで頂きたい。
なにが要因なのかを見極め改善し、より良い結果が出るように今の取組みを続けて行って欲しい。

株式会社 山形メタル

代表取締役 庄司 正人